

名古屋市立大学男女共同参画推進センター長からのメッセージ

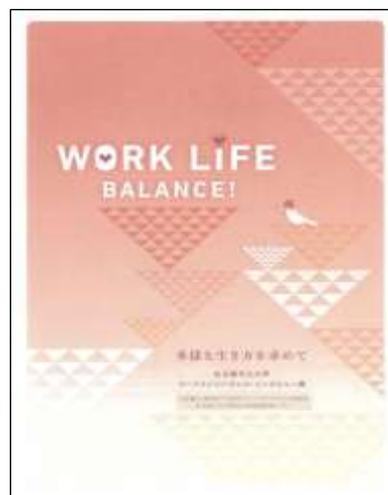
本学における男女共同参画への取り組みは、平成 20 年 6 月に設置された「男女共同参画室」から始まり、次いで平成 23 年 11 月に「女性研究者支援室」が設置され、さらに平成 26 年 4 月にはこれらが統合されて「男女共同参画推進センター」となり、いくつかの事業を展開しています。

長い人生のなかで育児や介護は避けて通れないライフイベントであり、女性にとっても、男性にとっても大きな関心事です。本学のすべての教職員と学生が家庭生活と仕事・学修を両立できるよう、そして自らの目標に向かって自分らしく取り組めるように、限りある資源のなかで工夫しながら事業を展開していきたいと思っております。皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

明石恵子（看護学部教授・学長補佐）

「ワーク・ライフ・バランス ロールモデル集」を製作

男女共同参画推進センターでは、平成 24 年、25 年に「女性研究者ロールモデル集」1 巻、2 巻を発行しました。あわせて 25 名の教員、大学院生にインタビューを行い、研究に対する思いや夢などを語られ、将来研究者をめざす高校生や大学生に広く読まれています。28 年度は、ワーク・ライフ・バランスをテーマとして、本学に勤務する教員および職員の働く姿を取り上げ、学生の協力を得て作成いたしました。



「ワーク・ライフ・バランスインタビュー集」

その他の取組紹介

★「教養課程特色科目」の実施

男女共同参画推進センターでは、学生が社会的性差（ジェンダー）と平等について理解し、考え方や行動に生かすことができるように、平成 24 年度から教養課程特色科目を実施してきました。28 年度からは前期と後期に 1 科目ずつの計 2 科目の実施となりました。地域社会で活躍する女性の方からは、ジェンダーについて総合的な知識、情報を得るとともに、組織の経営者として、あるいは上位職で活躍する女性としての経験に裏打ちされた講義を提供いただいています。ジェンダーの固定的役割にとらわれることなく、柔軟な発想と多様性の尊重により、男性も女性ものびやかに生きられる社会をつくることのできる力強いメッセージを受け取る機会として、人気科目になっています。

★「研究支援員制度」

出産、育児、介護等により研究時間の限られた女性研究者の研究活動を維持・促進することを目的として、当該期間中の女性研究者に研究支援員を配置しています。

★「ワーク・ライフ・バランス相談室」

2012 年 11 月、ワーク・ライフ・バランス相談室を設置し、ワーク・ライフ・バランスに関する相談および情報提供をおこなっています。